

2015年度 公益財団法人日本音楽教育文化振興会
事業報告 (2015年4月1日から2016年3月31日迄)

公1事業：音楽に関する学習機会を提供する事業

名 称：No. 1 「社会人のための音楽通信教育」

内 容：東京音楽学校同声会が母体となり、文部科学省認定音楽分野唯一の「社会人のための音楽通信教育」を実施。1948年（昭和23年）から68年間の実績をもとに今後も継続して民間音楽教育の普及・向上の推進を図る。

報 告：2013年より時代のニーズに合ったテキスト作成に取り組み、「たのしい作曲法」が文部科学省生涯学習局一般社会人通信教育の認可がなされた。2015年度は文部科学省より通信教育規則改正につき、認定社会通信教育講座の修了試験実施要請に伴い修了課題を作成した。2016年度は「音楽のすべて音楽通論」のテキスト改訂に向けて、理事の松尾祐孝氏を中心に本通信教育添削員の佐藤旬氏・首藤健太郎氏・星出和宏氏とともに改訂案を作成、文部科学省生涯学習局に改訂案を提出し審査及び指導を受ける。

名 称：No. 2 「楽譜検定」

内 容：楽譜とは、作曲者がプレイヤーに演奏情報を伝えるための設計図、あるいは後世に作品を残すための重要な手段の一つである。作曲者の意図を正しく伝えるためには、より正確で美しい楽譜であることが大事だが、そのためには伝統的な楽譜表記の「ルール」を知っていることがまず必要不可欠である。本検定は「楽譜に関する知識」について一定の指針を示し、その習熟度によってグレード（級）を付与することで、楽譜について学びたい方々の意欲向上、ひいては音楽文化の継承発展を牽引する人材の育成を目指す。

運 営：①ホームページ及び試験システムの運営

本検定の入口となるホームページ及び試験システムを運営（2013年7月より公開中）。

楽譜を学ぶことの意義を啓蒙し受験を促す。試験方式はインターネット・オンライン上で実施するものとし、24時間、365日、何時でも何処でも、学び、試験を受けられる体制を整え、設問の作成、継続的な更新作業、受験者情報の管理を含む、検定実施に係る一切の運営を行う。

②楽譜検定のグレードについて

開始当初は10級から2級までのグレードを設置する。10～8級は初学者向け、7～5級は中級者向け、4～2級は高等知識を問う内容とし、将来的には作品審査を伴う1級やそれ以上のグレードの設置も検討する。

③受験料について

本検定の受験は有料とする。ただし、学校等の教育現場でも気軽に活用できるよう10～8級は無料とする。7～5級が500円、4級＝1,000円、3級＝1,500円、2級＝2,000円の受験料を設ける。

④合格基準

およそ8割の正答により合格と判定し、オンライン上で認定証を発行。

⑤プロモーション活動

各種音楽イベントにおいて、リーフレットの配布などのプロモーション活動を行う。
楽譜を学ぶための支援活動音楽や楽譜を学ぶ際に有用な参考テキストや教育機関を紹介するなど、視野の広い情報提供を行う。

⑥有料グレードの開始について

2016年2月現在、10～8級までの無料グレードのみ公開しており、これまでにおよそ1,000名が楽譜検定に取り組んでいる。実際に取り組んだ方から「設問が少ない」「再チャレンジが1回しかできないのでは有料グレードは受けたくない」といった意見が寄せられており、このような諸問題及び設問内容を吟味・解決した上で、有料グレードを開始する。

公2事業：音楽に関する発表機会を提供する事業

名 称：No. 3 「日本管打楽器コンクール」

目 的：このコンクールは、公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで、生涯学習を通じての個人並びに社会に役立つ視野に立ち、管楽器及び打楽器（12 楽器部門）の各分野から有能なソリストの発掘、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。尚、各開催楽器部門の1位受賞者に、文部科学大臣賞・東京都知事賞をそれぞれ授与、特別大賞演奏会にて特別大賞授賞者に内閣総理大臣賞（予定）を授与する。

内 容：「2015年度 第32回日本管打楽器コンクール」（開催）

実施楽器部門：フルート・ホルン・トロンボーン・ユーフォニアム

■フルート部門（定員：240名）

会 場 東京音楽大学（東京都豊島区南池袋3-4-5）

第一次予選 8月24日（月）～25日（火）

第二次予選 8月28日（金）

本 選 8月29日（土）

■ホルン部門（定員：160名）

会 場 昭和音楽大学（神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1）

第一次予選 8月24日（月）～25日（火）

第二次予選 8月27日（木）

本 選 8月29日（土）

■トロンボーン部門（定員：240名）

会 場 国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

第一次予選 8月24日（月）～26日（水）

第二次予選 8月28日（金）

本 選 8月29日（土）

■ユーフォニアム部門（定員：130名）

会 場 国立音楽大学（東京都立川市柏町5-5-1）

第一次予選 8月24日（月）～25日（火）

第二次予選 8月27日（木）

本 選 8月29日（土）

■特別大賞演奏会及び表彰式 9月3日（木）18:00開演

会 場 文京シビックホール 大ホール（東京都文京区春日1-16-21）

共 演 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

指 揮 山下 一史

運 営：運営委員会

運営委員長	尾高 忠明	（NHK交響楽団正指揮者）
運営副委員長	吉井 實行	（公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事）
運営副委員長	松尾 祐孝	（本公益財団理事）
運営実行委員長	石渡 悠史	（本公益財団理事）
運営委員	青木 明	（フルート部門審査委員長／名古屋芸術大学名誉教授）
運営委員	山岸 博	（ホルン部門審査委員長／洗足学園音楽大学教授）
運営委員	古賀 慎治	（トロンボーン部門審査委員長／東京藝術大学准教授）
運営委員	三浦 徹	（ユーフォニアム部門審査委員長／国立音楽大学招聘教授）
運営事務局長	尾上 将己	（本公益財団常務理事）

後 援：内閣府、文部科学省、外務省、ドイツ連邦共和国大使館、中華人民共和国駐日本国大使館
文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、豊島区、豊島区教育委員会、文京区、文
京区教育委員会、立川市、立川市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・
かわさき」推進協議会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、
一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全
日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟

特別協力大学：東京音楽大学、昭和音楽大学、国立音楽大学

協 力：一般社団法人日本フルート協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、
日本ユーフォニアム・テューバ協会

協 賛：京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、武蔵野音楽大学、桐朋学園
大学音楽学部、尚美学園大学、東邦音楽大学、上野学園大学、日本大学芸術学部音楽学
科、札幌大谷大学芸術学部音楽学科、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽
学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、平成音楽大学、尚美ミュージ
ックカレッジ専門学校、株式会社図書出版、東京都民銀行春日町支店、株式会社ヤマハ
ミュージックジャパン、株式会社グローバル、野中貿易株式会社、株式会社ビュッフェ
・グループ・ジャパン、株式会社ドルチェ楽器、パウエル・フルート・ジャパン、株式
会社プリマ楽器、株式会社三響フルート製作所、村松楽器販売株式会社、パール楽器製
造株式会社、株式会社フォトライフ、ブレーション株式会社、株式会社JTB関東

報 告：本選審査結果（入賞者）

■フルート部門

- 第1位 山内 美慧 （東京藝術大学大学院在学）
第2位 内山 貴博 （フランス・パリ国立高等音楽院在学）
第3位 八木 瑛子 （東京藝術大学在学）
入 選 多久和 怜子 （上野学園大学卒）
入 選 齋藤 志野 （東京藝術大学大学院在学）

■ホルン部門

- 第1位 根本 めぐみ （東京藝術大学卒）
第2位 谷 あかね （東京藝術大学卒）
第3位 山田 圭祐 （札幌交響楽団）
入 選 青木 宏朗 （兵庫芸術文化センター管弦楽団）
入 選 萩野谷 美咲 （東京藝術大学別科在学）

■トロンボーン部門

- 第1位 森川 元気 （中部フィルハーモニー交響楽団）
第2位 中野 耕太郎 （札幌交響楽団）
第3位 笠野 望 （日本センチュリー交響楽団）
入 選 高井 郁花 （東京藝術大学在学）
入 選 越智 大輔 （群馬交響楽団）

■ユーフォニアム部門

- 第1位 佐藤 采香 （東京藝術大学大学院在学）
第2位 中村 大也 （エリザベト音楽大学在学）
第3位 濱岡 雪乃 （国立音楽大学卒）
入 選 貝塚 理江 （大阪音楽大学卒）
入 選 神山 剛央 （尚美ミュージックカレッジ専門学校在学）

■第1位入賞者：【文部科学大臣賞・東京都知事賞】

- フルート部門 山内 美慧 （東京藝術大学大学院在学）
ホルン部門 根本 めぐみ （東京藝術大学卒）
トロンボーン部門 森川 元気 （中部フィルハーモニー交響楽団）
ユーフォニアム部門 佐藤 采香 （東京藝術大学大学院在学）

■特別大賞：【内閣総理大臣賞】

- トロンボーン部門 森川 元気 （中部フィルハーモニー交響楽団）

■別賞：【東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 特別賞】

- ユーフォニアム部門 佐藤 采香 （東京藝術大学大学院在学）

名 称：No. 4 「日本管楽合奏コンテスト」

目 的：管打楽器及び吹奏楽に関する研究・調査・啓発を行うとともに音楽文化の向上を図り、学校教育、生涯学習における我国の管打楽器及び吹奏楽の充実・発展に寄与することを目的とする。その一環として「日本管楽合奏コンテスト」を開催する。

- ① 「独自のサウンド」の研究を行う。
- ② 管打楽器合奏を主体として、同属楽器アンサンブル・声楽・電子楽器・弦楽器との融合について研究を行う。
- ③ 時代様式、演奏様式、個人様式などの追求・研究を行う。
- ④ 全国大会においては、視覚的演出表現等の研究を行う。

内 容：「2015年度 第21回日本管楽合奏コンテスト」(開催)

予選審査会

2015年9月29日(火)、30日(水)、10月01日(木)、02日(金) <非公開>

全国大会

2015年10月31日(土) 高等学校A部門

2015年11月01日(日) 中学校A部門

2015年11月03日(火・祝) 小学校部門

2015年11月07日(土) 高等学校B部門

2015年11月08日(日) 中学校B部門

会 場：予選審査会／学校法人尚美学園本館

全国大会／文京シビックホール大ホール

主 催：公益財団法人日本音楽教育文化振興会

共 催：公益財団法人文京アカデミー、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

後 援：内閣府、文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、
一般社団法人全日本吹奏楽連盟

協 賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社音楽之友社、株式会社フォトライフ、
株式会社JTB関東、尚美ミュージックカレッジ専門学校、チャコット株式会社、
東京ミューズ・アカデミー、ブレイン株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン、
ローランド株式会社

運 営：大会役員・運営委員会

大会顧問 煙山 力 (元文京区長)

大会会長 赤松 昌代 (本公益財団理事長)

大会副会長 小澤 俊朗 (本公益財団理事)

運営委員長 石田 修一 (本公益財団理事)

運営副委員長 後藤 洋 (日本管打・吹奏楽学会常務理事)

運営事務局長 尾上 将己 (本公益財団常務理事)

運営委員会は、運営委員長の石田修一氏(本公益財団理事)を中心とし、小澤俊朗氏(本公益財団理事)の協力のもと、2015年9月29日、30日、10月1日、2日に予選審査会が行われた。5部門のうち、小学校部門34校、中学校A部門36校、中学校B部門31校、高等学校A部門36校、高等学校B部門32校を選出した。また前回の最優秀グランプリ賞受賞校(5校)に対して、特別演奏及び特別表彰の機会を設けた。

報 告：全国大会結果

■高等学校A部門

□文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞

東海大学菅生高等学校

□最優秀賞

中村女子高等学校、国本女子中学校・高等学校、聖徳大学附属女子中学校・高等学校、

横浜創学館高等学校、浜松日体中・高等学校、千葉県立八千代高等学校、関西創価高等学校、佼成学園女子高等学校、島根県立島根中央高等学校、聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校、山形県立山形東高等学校、千葉市立稲毛高等学校、東海大学菅生高等学校

- 審査員特別賞
須磨学園高等学校、千葉県立八千代高等学校
- バンドジャーナル賞
神奈川県立弥栄高等学校
- ブレーン賞
島根県立島根中央高等学校
- フォトライフ賞
藤村女子高等学校
- ヤマハ賞
八王子実践高等学校

■ 中学校A部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
柏市立大津ヶ丘中学校
- 最優秀賞
札幌市立琴似中学校、相模原市立大野南中学校、真岡市立真岡東中学校、川崎市立玉川中学校、横浜市立南瀬谷中学校、練馬区立田柄中学校、市原市立双葉中学校、江戸川区立鹿本中学校、射水市立射北中学校、旭川市立東光中学校、柏市立大津ヶ丘中学校、須賀川市立第一中学校
- 審査員特別賞
射水市立射北中学校
- バンドジャーナル賞
天栄村立天栄中学校
- ブレーン賞
春日部共栄中学校
- フォトライフ賞
北斗市立大野中学校
- ヤマハ賞
仙台市立中田中学校

■ 小学校部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
船橋市立高根東小学校
- 最優秀賞
王寺町立王寺小学校・王寺町立王寺南小学校、那覇市立安謝小学校、日光市立今市第三小学校、水戸市立三の丸小学校、函館市立日吉が丘小学校、江東区立明治小学校、福島市立三河台小学校、船橋市立高根東小学校、柏市立酒井根東小学校、関西創価小学校、習志野市立実花小学校、武蔵野市立第一小学校、天草市立本渡南小学校、さいたま市立高砂小学校
- 審査員特別賞
王寺町立王寺小学校・王寺町立王寺南小学校
- ブレーン賞
世田谷区立千歳小学校

- フォトライフ賞
天草市立本渡南小学校
- ヤマハ賞
我孫子市立我孫子第四小学校

■ 高等学校B部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
柏市立柏高等学校
- 最優秀賞
福島県立平商業高等学校、作新学院高等学校、光ヶ丘女子高等学校、東京都立片倉高等学校、千葉県立幕張総合高等学校、東京都立杉並高等学校、東海大学付属高輪台高等学校、千葉県立千葉商業高等学校、大阪桐蔭高等学校、柏市立柏高等学校
- 審査員特別賞
福島県立平商業高等学校、作新学院高等学校
- ブレーン賞
埼玉県立越谷南高等学校
- フォトライフ賞
福岡県立門司学園中学校高等学校
- ヤマハ賞
水戸女子高等学校

■ 中学校B部門

- 文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞
柏市立酒井根中学校
- 最優秀賞
名古屋市立神丘中学校、古河市立総和中学校、朝霞市立朝霞第一中学校、浜松市立開成中学校、松戸市立第一中学校、名古屋市立植田中学校、松戸市立第四中学校、柏市立酒井根中学校、羽村市立羽村第一中学校、習志野市立第五中学校
- 審査員特別賞
山形市立第六中学校
- ブレーン賞
日立市立多賀中学校
- フォトライフ賞
出水市立出水中学校
- ヤマハ賞
松戸市立第四中学校

■ 特別演奏及び特別表彰

- 小学校部門：柏市立酒井根西小学校
- 中学校A部門：紋別市立紋別中学校
- 中学校B部門：日進市立日進中学校
- 高等学校A部門：慶應義塾志木高等学校
- 高等学校B部門：春日部共栄高等学校

名 称：No. 5 「日本ジュニア管打楽器コンクール」

目 的：全国小学校・中学校・高等学校の教育現場における管打楽器教育のあり方と、管打楽器愛好者の優秀な人材の発掘や育成及び啓発と普及を目的とする。文部科学大臣賞授与。

内 容：「2015年度 第18回日本ジュニア管打楽器コンクール」(開催)

開催部門：ソロ部門(12楽器の部) / アンサンブル部門(木管の部・金管の部・打楽器の部)

コース：小学生コース / 中学生コース / 高校生コース

実施楽器：フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・トロンボーン・ホルン・ユーフォニアム・テューバ・パーカッション・マリンバ

演奏曲目：予選・本選考会とも規定分数以内の任意の楽曲とする。

演奏時間：ソロ部門 小・中学生コース5分以内。高校生コース6分以内。

アンサンブル部門 小・中・高校生コース5分以内。

受付期間：2016年01月08日(金)～02月03日(水)まで

予選考会：2016年02月13日(土)～02月14日(日) <非公開>

本選考会：ソロ部門 <公開審査>

2016年3月22日(火) フルード・ファゴット・トランペット

2016年3月23日(水) サクソフォーン・ホルン・トロンボーン

2016年3月24日(木) クラリネット・オーボエ・テューバ

2016年3月25日(金) パーカッション・マリンバ・ユーフォニアム

アンサンブル部門 <公開審査>

2016年3月26日(土) 打楽器の部・木管の部・金管の部

会 場：バリオホール(東京都文京区本郷4-15-9)

後 援：文部科学省、東京都、文京区、文京区教育委員会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、北海道吹奏楽連盟、北海道日胆地区吹奏楽連盟、北海道空知地区吹奏楽連盟、北海道旭川地区吹奏楽連盟、北海道帯広地区吹奏楽連盟、岩手県吹奏楽連盟、東関東吹奏楽連盟、栃木県吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、千葉県吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、西関東吹奏楽連盟、山梨県吹奏楽連盟、埼玉県吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、東京都中学校吹奏楽連盟、東京都高等学校吹奏楽連盟、東海吹奏楽連盟、長野県吹奏楽連盟、福井県吹奏楽連盟、関西吹奏楽連盟、大阪府吹奏楽連盟、兵庫県吹奏楽連盟、滋賀県吹奏楽連盟、和歌山県吹奏楽連盟、広島県吹奏楽連盟、岡山県吹奏楽連盟、山口県吹奏楽連盟、鳥取県吹奏楽連盟、島根県吹奏楽連盟、香川県吹奏楽連盟、高知県吹奏楽連盟、愛媛県吹奏楽連盟、徳島県吹奏楽連盟、九州吹奏楽連盟、北九州吹奏楽連盟、福岡吹奏楽連盟、佐賀県吹奏楽連盟、長崎県吹奏楽連盟、鹿児島県吹奏楽連盟、宮崎県吹奏楽連盟、沖縄県吹奏楽連盟

協 力：一般社団法人日本フルード協会、日本オーボエ協会、日本ファゴット(バスーン)協会、一般社団法人日本クラリネット協会、日本サクソフォーン協会、日本トランペット協会、日本ホルン協会、日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会、日本打楽器協会、日本木琴協会

協 賛：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社こおろぎ社、株式会社JTB関東、東京ミューズ・アカデミー、株式会社ドルチェ楽器、株式会社フォトライフ、ブレーン株式会社、株式会社ヤマハミュージックジャパン

入賞者記念演奏会の実施

名 称：「第18回日本ジュニア管打楽器コンクール入賞者記念演奏会」

目 的 : 本選考会で入賞した全コースのソロ部門とアンサンブル部門の中から記念演奏会を開催。

日 時 : 2016年3月27日(日) 13:00 開演

会 場 : 文京シビックホール 小ホール (東京都文京区春日 1-16-21)

入 場 料 : 1,000 円

運 営 : 役員

運営委員長 石渡 悠史 (本公益財団理事)

運営事務局長 尾上 将己 (本公益財団常務理事)

運営委員長の石渡悠史氏(本公益財団理事)がソロ部門とアンサンブル部門における予選審査・本選審査を運営及び審査員へ指導などの統括を行った。

報 告 : 受賞者一覧

■文部科学大臣賞

小学生コース : 金賞 櫻井 あや 釧路市立共栄小学校

中学生コース : 金賞 森松 炎山 鷹南学園三鷹市立第五中学校

高校生コース : 金賞 後藤 竜士 常盤木学園高等学校

■ソロ部門

□フルートの部

小学生コース

金賞 西山 涼華 船橋市立習志野台第一小学校

銀賞 荒井 琉李 徳島市立川内北小学校

銅賞 中澤 愛菜 五所川原市立栄小学校

中学生コース

金賞 五十嵐 らん 国立音楽大学附属中学校

銀賞 蔦本 想大 東京賢治シュタイナー学校中等部

銅賞 高橋 璃桜 東邦音楽大学附属東邦中学校

高校生コース

金賞 沖田 彩歌 甲斐清和高等学校

銀賞 松本 実南 日立第一高等学校

銅賞 荒井 夏実 長野県諏訪清陵高等学校

□ファゴットの部

中学生コース

銀賞 松本 拓也 豊中市立第十一中学校

銀賞 高木 茉裕 海老名市立今泉中学校

高校生コース

金賞 畑崎 真友子 吉祥女子中学・高等学校

銀賞 吉田 瑠璃沙 東京音楽大学付属高等学校

銅賞 小田 光 千葉県立幕張総合高等学校

□トランペットの部

小学生コース

金賞 鏡 堅心 越谷市立城ノ上小学校

銀賞 坂井 真矢 小山市立小山城東小学校

銅賞 渡邊 日菜 浦安市立日の出小学校

中学生コース

金賞 飯塚 純鈴
銀賞 小池 美和
銅賞 小野 優歌
銅賞 中井 風馨

江東区立深川第二中学校
吉見町立吉見中学校
苫小牧市立啓明中学校
水戸市立笠原中学校

高校生コース

金賞 大條 眞由
銀賞 高松 圭佑
銅賞 狩野 華乃

埼玉栄高等学校
東海大学付属第四高等学校
神奈川県立弥栄高等学校

□サクソフォーンの部

小学生コース

金賞 河村 汐莉

世田谷区立千歳小学校

中学生コース

金賞 放生 幹也
銀賞 外川 莉緒
銅賞 濱中 いずみ

海老名市立海西中学校
遠軽町立遠軽中学校
大阪市立放出中学校

高校生コース

金賞 船迫 真衣
銀賞 濱田 海宏
銅賞 清水 舞花

奈良県立高円高等学校
奈良県立高円高等学校
長野県松本深志高等学校

□ホルンの部

小学生コース

金賞 智田 あか音
銀賞 星野 基信

武蔵野市立第三小学校
都城市立高城小学校

中学生コース

金賞 鈴木 順子
銀賞 宮城 ひかり
銅賞 渡邊 二千佳

岡崎市立竜海中学校
武蔵野市立第三中学校
大阪市立放出中学校

高校生コース

金賞 大徳 菜々
銀賞 滝 莉理子
銅賞 笹本 奏衣

鹿児島県立松陽高等学校
高松第一高等学校
北海道釧路明輝高等学校

□トロンボーンの部

小学生コース

金賞 林 智大
銀賞 長澤 桜子

世田谷区立千歳小学校
小山市立小山城東小学校

中学生コース

金賞 高橋 美久
銀賞 岸本 凌雅
銅賞 佐藤 豪洲

川口市立青木中学校
加古川市立浜の宮中学校
玉川学園中学部

高校生コース

金賞 佐藤 晴香
銀賞 松ヶ野 土筆
銅賞 川津 俊弥
銅賞 池田 幸美

東京音楽大学付属高等学校
鹿児島県立松陽高等学校
熊本県立ひのくに高等支援学校
川口市立川口総合高等学校

□クラリネットの部

小学生コース

金賞 原田 萌衣花	遠軽町立東小学校
銀賞 塚田 晏澄	真岡市立真岡東小学校
中学生コース	
金賞 押領司 里紗	小平市立小平第三中学校
銀賞 及川 晴夏	ひたちなか市立佐野中学校
銀賞 菅井 水晶	遠軽町立遠軽中学校
銅賞 春田 傑	宇多津町立宇多津中学校
高校生コース	
金賞 後藤 竜士	常盤木学園高等学校
銀賞 十河 優花	高松第一高等学校
銅賞 内山 智毬	立命館慶祥高等学校
□オーボエの部	
中学生コース	
金賞 森松 炎山	鷹南学園三鷹市立第五中学校
銀賞 佐藤 美海	さいたま市立宮原中学校
高校生コース	
金賞 松本 純奈	愛知県立明和高等学校
銀賞 河村 真歩	愛知県立明和高等学校
銅賞 村松 和奈	愛知県立明和高等学校
銅賞 鈴木 里佳	聖徳大学附属女子高等学校
□チューバの部	
小学生コース	
金賞 櫻井 あや	釧路市立共栄小学校
中学生コース	
銀賞 島 圭佑	帯広市立西陵中学校
銅賞 小森 勁	玉川学園中学部
高校生コース	
金賞 緑川 誠	千葉黎明高等学校
銀賞 松井 秋水	飛騨学園高山西高等学校
銅賞 宮原 遼汰	花咲徳栄高等学校
□パーカッションの部	
中学生コース	
金賞 小村 明花	練馬区立田柄中学校
銀賞 落合 杏美	遠軽町立南中学校
銅賞 下田 透	香芝市立香芝中学校
高校生コース	
金賞 原島 愛日	武蔵野音楽大学附属高等学校
銀賞 伊藤 大貴	埼玉栄高等学校
銅賞 坂下 潤紀	北海道遠軽高等学校
□マリンバの部	
小学生コース	
金賞 倉橋 明里	蒲郡市立蒲郡東部小学校
銀賞 三浦 英恵	蒲郡市立蒲郡南部小学校
銅賞 月橋 早桜	宇都宮市立緑が丘小学校
中学生コース	
金賞 村上 志乃	宇都宮短期大学附属中学校
銀賞 尾崎 夏子	神戸市立塩屋中学校

銅賞 三浦 青葉 蒲郡市立蒲郡中学校
銅賞 竹内 萌香 蒲郡市立形原中学校
高校生コース
金賞 島岡 里梨香 愛知県立豊丘高等学校
銀賞 富永 朱音 愛知県立明和高等学校
銅賞 高橋 咲帆 千葉県立佐倉高等学校

□ユーフォニアムの部

小学生コース
金賞 山本 さくら 浦安市立日の出小学校
中学生コース
金賞 杉田 優希 柏市立柏第五中学校
銀賞 岩井田 さくら 鹿児島市立坂元中学校
銅賞 松丸 愛海 柏市立柏第五中学校
高校生コース
金賞 植松 令太 明星高等学校
銀賞 原 厳汰 玉川学園高等部
銅賞 野中 駿 栃木県立宇都宮高等学校

■アンサンブル部門

□打楽器の部

小学生コース
金賞 Chu-oh!+y's 打楽器四重奏 (青森県)
銀賞 深川市立深川小学校 打楽器三重奏 (北海道)
銅賞 マリンバンビーノM 打楽器四重奏 (栃木県)
中学生コース
金賞 浜松市立開成中学校 打楽器六重奏 (静岡県)
銀賞 南国市立鳶ヶ池中学校 打楽器七重奏 (高知県)
銅賞 習志野市立第二中学校 打楽器四重奏 (千葉県)
高校生コース
金賞 関西高等学校 打楽器四重奏 (岡山県)
銀賞 北海道遠軽高等学校 打楽器六重奏 (北海道)
銅賞 埼玉県立越谷北高等学校 打楽器八重奏 (埼玉県)

□木管の部

小学生コース
金賞 岩手大学教育学部附属小学校 サクソフーン三重奏 (岩手県)
銀賞 おいらせ町立木ノ下小学校 クラリネット五重奏 (青森県)
中学生コース
金賞 宮崎市立大淀中学校 混成八重奏 (宮崎県)
銀賞 苫小牧市立和光中学校 クラリネット四重奏 (北海道)
銅賞 三郷市立早稲田中学校 クラリネット五重奏 (埼玉県)
高校生コース
金賞 明誠学院高等学校 木管八重奏 (岡山県)
銀賞 チームMJ クラリネット三重奏 (北海道)
銅賞 千葉県立八千代高等学校C サクソフーン四重奏 (千葉県)
銅賞 神奈川県立川崎北高等学校 木管八重奏 (神奈川県)

□金管の部

小学生コース

金賞 小山市立小山城東小学校 金管八重奏 (栃木県)

銀賞 船橋市立西海神小学校 金管五重奏 (千葉県)

中学生コース

金賞 紋別市立紋別中学校 金管打楽器八重奏 (北海道)

銀賞 南相馬市立原町第一中学校 金管五重奏 (福島県)

銅賞 高根沢町立阿久津中学校 金管八重奏 (栃木県)

高校生コース

金賞 神奈川県立川崎北高等学校 金管八重奏 (神奈川県)

銀賞 茨城県立牛久栄進高等学校 金管八重奏 (茨城県)

銅賞 千葉市立稲毛高等学校 トロンボーン四重奏 (千葉県)

名 称 : No. 6 「サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

目 的 : 作曲家の人材発掘を主眼としたコンクールやコンテストは、既に国内外に数多く存在しています。特に伝統的な西欧クラシック音楽の延長上にある現代音楽の分野においては、様々な格式の作曲コンクールが多数存在しています。しかし一方で、現代社会において一般大衆に対する娯楽音楽、つまり商業音楽、ポピュラー音楽や映画放送音楽や劇伴といった分野への進出を目指す作曲家の人材発掘を目指したコンクールやコンテストの類は、まだ歴史も浅く、数も多くはないといった状況です。そこで私どもは、あるテーマ (課題) を設定して、それに沿った作品を募集して審査するという実際的な方法で、優れたクリエイターの資質を備えた人材を発掘するコンクールの企画化を目指し、今までに在るようで無かった…、こんなクリエイター発掘コンテストが欲しかった…、というコンクールを開催します。

内 容 : 「2015年度 第3回サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー」

課 題 : 「音・魂」

応募期間 : 2015年4月20日 (月) ~2015年6月1日 (月) まで

応募方法 : 財団ホームページによるオンライン応募

選考期間 : 2015年6月5日 (金) ~2015年6月15日 (月) PCによるデータ審査

表彰式 : 2015年7月1日 (水) クリエイターEXPO 東京 会場内 (東京ビッグサイト)

運 営 : 顧 問 赤松 昌代 (本財団理事長)

運営委員長 佐々木 隆一 (本財団理事)

実行委員長 松尾 祐孝 (本財団理事/チーフプロデューサー)

実行副委員長 松井 朋巳 (本財団理事/ホームページ&広報担当)

審 査 員 : 特別審査員 YOFFY (シンガーソングライター)

渡辺 俊幸 (作曲家・編曲家)

審査員 山下 康介 (作曲家・編曲家)

宮木 朝子 (作曲家・サウンドクリエイター)

小阪 淳 (美術家・映像クリエイター)

協 力 : リード エグジビション ジャパン株式会社

後 援 : 日本現代音楽協会、一般社団法人日本作編曲家協会

参 加 : グランプリ 1作品、ファイナリスト7作品、奨励賞 2作品

報 告 : ■グランプリ (ファイナリスト) 橋口 礼 (フリーランス)

□作品名 : 「What Your color? ~Black or White~」

魂というテーマに基づき、善と悪、両方の面を持つ本来の人間を表現してみました。

○プロフィール

平成 25 年 3 月 株式会社ソニー・コンピューターエンタテインメント、および株式会社角川ゲームスの共同プロジェクト「Project Discovery 1st」サウンドデザイナー部門 第 2 位 受賞。

■実行委員長特別賞（ファイナリスト） 城野 萌（所属：CROOZ 株式会社）

□作品名：「LIFE」

大自然が織りなす森羅万象の豊かな生命の力強さ、そして壮大なる大地の美しさを音で表現しました。

○プロフィール

3 歳よりヤマハ音楽教室に通い始める。2010 年 国立音楽大学音楽文学デザイン学科作曲応用コースを卒業。作曲を中島良史、栗山和樹、ピアノを井上郷子に師事。同大学卒業後、株式会社コナミデジタルエンタテインメント 小島プロダクションに入社。現在は Crooz 株式会社のメインコンポーザーとして、主に新規ネイティブアプリの BGM 制作に携わっている。

■ファイナリスト 神村 茂三（所属：春日工業株式会社）

□作品名：「いにしえよりいたるひかり」

自身のルーツやアイデンティティーを考え作りました。自分の心？生命？魂？はどのような DNA を受け継いでいるのだろうか？そして遙か昔に、この国の礎を築いてきた偉大なる先人たちは遙かな未来に何を想い何を伝えたかったのだろうか？そんな事をイメージしながら創作いたしました。共同制作者／写真家 MASA（多田政弘）

○プロフィール

1992 年にキティレコードよりアニメソングで CD デビューを果たす。1995 年に東芝 EMI に移籍。2 枚のアルバムをリリースする。1999 年よりプライベートスタジオを中心に作曲活動を展開。現在は CM 音楽制作をはじめ、ゲームなどのサウンドトラック、ミュージカル等の舞台音楽を手がける。主な作品：シートン動物記ミュージカル「オオカミ王ロボ」作曲・編曲、きかんしゃトーマスミュージカル「ソドー島のたからの島」作曲・編曲、実況パワフルプロ野球 BGM 作曲・編曲、「虹と太陽の丘」らんま 1/2ED 作詞・作曲・編曲、「そらのうた」JAXA イメージソング作詞・作曲・編曲、TVCM：エルセラー化粧品・第一生命・NTT・アクサダイレクト

■ファイナリスト 川崎 龍（所属：東京藝術大学）

□作品名：「The Song of Firebird」

時空を超えて人々の魂を結びつけるというイメージで作りました。

○プロフィール

1991 年生。東京藝術大学学科在籍。2008 年、アジア国際音楽コンクール作曲社会人部門で第 3 位、ウィーン国立音楽大学で行われた入賞記念演奏会で自作を演奏。同大のヴァイオリニストのチェンコフスキー氏や、ピアニスト、作曲家のピーター・エフラー氏などから称賛を受ける。2009 年、アジア国際音楽コンクール作曲全部門第 1 位。2010 年、中川英二郎氏(Trb.)、エリック・ミヤシロ氏(Trp.)などによる金管アンサンブル「侍 Brass」のアルバムに作曲で参加。東京オペラシティでのライブでも演奏さ

れる。演出家、青井陽治氏の手掛けるリーディング舞台『ボイラーマンの妻』、同氏演出、渡部豪太さん主演の舞台、『コーパス・クリスティ』の音楽を担当。その他、日本を代表するサクソフォニストの須川展也氏による委嘱作品や、Zoorasian Brass、Knockout Brass のアルバム、東京ディズニーランドバンド、映像作品のための音楽、TV-CM など作編曲多数。

■ファイナリスト 菅野 麗士 (フリーランス)

□作品名：「魂の鼓動」

魂の持つ力強さや魂の鼓動を自分なりに音やメロディ、曲構成で表現しました。

○プロフィール

ピアノ経験年数 10 年、作曲活動 5 年。尚美学園大学芸術情報学部音楽表現学科音楽メディアコース 2015 年卒業。

■ファイナリスト くぼた あきゆき (フリーランス)

□作品名：「薔薇の名前」

ウンベルト・エーコ著の「薔薇の名前」を読み、楽曲のタイトルに僭越ながら選ばせて頂きました。「薔薇の名前」という本には作者の「魂」がしっかりと存在し、私なりに感じた印象を「音」で表現しました。難しい事はわかりませんが、「詩」「修辞」「文法」「諧謔」「論理」「幾何」という表現があると知り、本を通して感じた印象をこの曲に発想を与え結びつけるきっかけになった一冊であり、私にとってとても大切な一曲になりました。共同制作者/成田 浩一郎 (マスタリング)

○プロフィール

1. 自身のバンド Sunny Place eco japan cup2013 ミュージック部門「僕はトマト」グランプリ無しの準グランプリを授賞。2. 映画「モンゴル野球青春記」が、Los Angeles All Sports Film Festival 2013 でグランプリ授賞。3. サウンド・クリエイター・オブ・ザ・イヤー2014 にてファイナリストに入賞。

■ファイナリスト 古田 将崇 (所属：札幌スクールオブミュージック専門学校)

□作品名：「ONE ROOM LOVERS」

日本の独特の魂の考え方を表現しました。

○プロフィール

12 歳からギターをはじめ 14 歳で DTM を始める。現在札幌スクールオブミュージック専門学校在籍。

■奨励賞 戸田 有里子 (フリーランス)

□作品名：「海を眺める君」

もとは短編映画の劇伴音楽として作った曲ですが、今回の為に素材を引用しながら新しく作り直しました。一人の少女が海を見つめながら毎日を過ごし、海のもとで大人へと成長していく様子をイメージしています。

○プロフィール

幼少時に JOC (ヤマハ音楽教室主催) 出演。国立音楽大学作曲学科卒業。卒業演奏会にて交響曲『Fuji』を初演ガレリアウィンドオーケストラにて吹奏楽曲『-小天地-』を初演。その他各音楽団体にて委嘱初演。音楽学校メーカー・ハウスにてジャズピアノ

ノ、DTM を受講。都内でサポートキーボード演奏。作家事務所 KSP に所属。熱海復興
団体より最優秀賞を受賞。現在、企業 BGM、Jpop、演歌などの発注を受けている。

■奨励賞 中島 直樹（所属：東京藝術大学）

□作品名：「大地の鼓動」

地球上で生きる動物、植物、そして私たち人間は皆、魂を持ち、鼓動を大地に響か
せている。その鼓動の一つ一つは小さいかもしれない。しかし、たくさんの鼓動が
寄り集まると、そこには大きな鼓動の波が生まれる。その波は次第に広がり、より
大きな鼓動の波を作る。そして、大地の魂の鼓動となる。そのような「大地の鼓動」
を音楽で表現しました。

○プロフィール

3歳からピアノを習う。幼少の頃から独学で作曲をはじめ。中学1年生から楽典な
どの音楽理論を学ぶ。高校2年生から音楽理論と作曲を、作曲家の久行敏彦氏に師事
する。高校ではオーケストラ部に所属し、チェロと指揮者を務める。高校3年生の時、
第23回サウンズコンテストにて審査員特別賞を受賞。洗足学園音楽大学主催の DTM
コンテストでグランプリを獲得。現在は東京藝術大学 音楽環境創造科に在学中。

公3事業：音楽に関する鑑賞機会を提供する事業

名 称：No. 7 「全日本市民バンドフェスティバル」

目 的：全国の音楽バンドの発展と地域における市民音楽バンド活動の一環として、地方音楽文
化の普及と啓発に貢献することを目的とし、ここに「全日本市民バンドフェスティバル」
を開催し、演奏会を行う。

内 容：「2015年度 第8回全日本市民バンドフェスティバル」（開催）

2015年12月27日（日）13：00～18：00

会 場：尚美ミュージックカレッジ専門学校 バリオホール

後 援：一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

協 賛：株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社フォトライフ、ブレーション株式会社、株式
会社 JTB 関東、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

特別協力：尚美ミュージックカレッジ専門学校

報 告：出演団体 計 11 団体

- ・やまももシンフォニックバンド
- ・市川市立第八中学校吹奏楽部
- ・大江戸シンフォニックウィンドオーケストラ
- ・郁文館夢学園ブラスバンド部
- ・昭和学院中学校・高等学校
- ・葛飾区立細田小学校金管バンド部
- ・暁ブラスソサエティ
- ・戸田市立美笹中学校吹奏楽部
- ・神奈川ウインドオーケストラ
- ・KATZE Wind Orchestra
- ・CHIBA TRAILBLAZERS

名 称 : No. 8 「国際音楽ソフトウェア流通協議会」

(略称 : イムスタ International Music Software Trade Association)

目 的 : 違法コピーが蔓延している昨今、2008 年の IMSTA 委員会の設立から市場や消費者にメッセージを届け、継続的な教育啓蒙活動が主たる活動となる。

内 容 :

①Facebook での普及啓蒙活動の実施 <https://www.facebook.com/IMSTAJapan>

啓蒙活動予定 : イベントプロモーションを行う。

②広報活動

IMSTA JAPAN ホームページを通じた普及啓蒙活動及び媒体各社への無償告知の要請、無償パブリシティの協力要請、ミュージシャンへの取材及び WEB への掲載。

<http://www.imsta.org/japan/index.php>

③ヤフーオークション他への IMSTA 委員会としての団体参加。違法コピー商品のオークション掲載の即時掲載削除を実施する。

④店頭などで、リーフレットの配布などのプロモーションを行う。